

## 令和6年度第1回島田市文化芸術推進協議会 議事概要

1 日時 令和6年10月22日（火） 午後1時00分～午後3時00分

2 場所 プラザおおるり 第10会議室

### 3 出席者

(1) 委員 松本委員、森澤委員、小栗委員、片川委員、榛葉委員、高橋委員、沼田委員、岡村委員、松永委員

(2) 事務局 産業観光部文化振興課 佐藤課長、石間補佐、三宅主事

(3) 傍聴者 0名

### 4 概要

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 会長・副会長選出

(4) 議事

#### ○協議事項

(1) R5年度実績評価の報告について

(2) R5年度実績評価対象事業の抽出について

委員からの質問・意見は以下のとおり。

(1) R5年度実績評価の報告について

委員：地域クラブ活動の推進について、文化系の部活は地域の支えが難しいと思う。島田市としての考えはどうか。

事務局：島田市としては、令和9年度に地域移行とする方向で動いている。現時点では、推進委員会を立ち上げて現状の課題を抽出しているという段階である。文化の方も並行で話が進んでおり現在、部活動で活発に動いている分野は、吹奏楽、美術、二中の合唱である。吹奏楽は文化団体の方に話をさせていただいて、受け入れに積極的で連携がとれている。美術についてもある程度めどは立っている状況である。今の文化の部活についてはとりあえずの道すじがある程度立っている状況である。各市町で事情が異なりそれぞれ課題がある。市だけで解決することは難しいと感じている。

- 委員：愛知県では、中学校の体育館を建て替える時に、中学生が入る通路と一般市民が入る通路を別に設けた。学校の式典、クラブ活動、体育がある時は優先で、その時間が終わると地域クラブ優先になる。屋上は、地域クラブ専用となっている。基本的には本格的に開放している。市民は会費を払って地域クラブで活動している。中学の部活とクラブ活動はネットを張って区別して活動している。クラブの指導者は全日本で活躍した選手がコーチとなっている。近隣の市町からも来る。銭湯があり会員になると無料で使用できる。スポーツ振興くじの助成を受けている。運営しているのは元中学校校長であり、やる気のある指導者がおり無給で指導している。この市は4つの中学校があるが、1校のみ実施している。放課後児童クラブは所得制限があるが、地域クラブは所得制限がない。プロが指導するので親は安心である。地域クラブに来た市民が折り紙を教えたりしている。地域力が問われることがわかった。使用する側は良いが運営する側は大変である。下校時間が季節によって違うので、それを全員把握していなければならない。校長も地域マネジメントの一員となっている。
- 委員：金谷宿大学の学長を務めており、先般の会議で部活動の地域移行について話があった。地域と子供との連携がなく、地域にどのような子がいるのか知らない。このような状態でクラブ活動を受けてよいのかという意見があった。まずは、地域が連携できるような主体をつくらなければならない。
- 委員：昔は銭湯がありそこで近所の方が交流し社会規範を作っていた。それがなくなると、文化にしてもスポーツにしても地域に丸投げするのはどうかと思う。
- 委員：島田市は縦に長い。同じことを行うにしても焼津市と島田では違う。焼津はコンパクトである。
- 委員：直接関係ないかもしれないが、この問題も大きな目でみれば広い意味での文化政策になる。庁内調整がすごく重要になる。
- 委員：この問題は中学校の部活の問題か。
- 委員：中学は都市部はともかく私立高校に通学する生徒はそれほどいないので中学校のクラブの問題は課題である。
- 委員：静岡は吹奏楽が盛んである。演奏、練習、発表する場という意味で文化ホールの必要性などの話がでてくると思う。市民会館が閉館

した時もアマチュア団体にアンケートを取ったが、ホールを活用するという話はなかった。その後市民の方から文化ホール建設について必要であるとかいう意見は出ているのか。

事務局：市議会でそういった質問が出ている。質問する議員がいるということは、市民にも要望があるのではないか。島田市だけでは難しいと思うので、近隣の市と協力して建設したらどうかという意見は議会でも出ている。

委員：他の市のものを使おうというのではなく、協力して新しい建物を作ろうという意見か。

事務局：近隣市町の施設と建設年が似ている。

委員：部活動地域移行の話が進み活動範囲が広がると、いずれは発表の場とか練習場も学校ではなくホールについての練習室などの話にも波及してくるのではないか。

委員：島田は高校が4校、中学校が7校すべてに吹奏楽部がある。文化協会で吹奏楽フェスティバルを毎年主催しているがおおりのホールは満席である。

委員：おおりは吹奏楽の公演をする場所ではない。音楽向きのホールと演劇向きのホールと響きから造りから違う。少なくとも1,200席くらいの規模のホールは無いよりあった方がいい。

ただ、島田市の人口規模、財政規模、人材、年間ランニングコストを考えると、たぶんアマチュアの人を使うと週末だけ、使用料収入は少ない、指定管理制度を使うとなると指定管理料が必要となり、やはり厳しいということで建設しなかった。

委員：大きいホールを作れば空調などランニングコストもかかる。焼津市民会館も古くなっている。同じものを作っても無駄になるので市町村連携してこちらは音楽向き、あちらは演劇向きとか上手に住み分けないとお金がない。

焼津で印象的だったのは、厚生年金基金融資施設の建物があつた。当時は、厚生年金に余裕があつたが、今は厚生年金から融資が出ると思えないし、建設するにしてもお金がない。文化行政は連携が必要である。

委員：川根図書館は小学校の敷地内にある。防犯的な問題があるかもしれないが、他の地区の学校図書館も同じように開放したら、地域の方が学校を訪れる機会が増えるのではないか。

委員：昔は用務員さんが常駐していた。機械警備が入り学校と地域が切り離された。自転車で通勤する先生が多かったが今は遠方より来

るようになり自家用車で通勤する。

学校の敷地は日本の宝である。閉校などで手放さない方が良い。

委員：おおりが改修され、市民スペースが出来てすごく良いと思う。  
市役所を建設する時に、1階の外のスペースを市民と上手に使えるような仕組みはというテーマでワークショップに出席したが、何も意見が反映されていない。ベンチが置いてあるだけである。

委員：今工事しているのは駐車場を作るためである。駐車場が少ない

事務局：おおりを使うお客さんが駐車場がないので整備している。

委員：市役所の話がなくなっておおりに市民交流スペースができたのか。

委員：14番は市庁舎ロビーの活用ということで一応ロビーの活用もチェック項目に入っている。

委員：私が見たイメージパンフレットの時には市庁舎の南側に別でマルシェができるようなスペースがあったと思う。市民が来やすく気楽に来れる場所、市民の憩える場所にしようと聞いた気がした。

事務局：市民の憩いのスペースとしておおりにフリースペースを設置している。意見を反映させていただいた場所として市役所ではないが、そこでみんなで交流していただくということで掲示板も作成した。

委員：市役所は土日閉庁している。市役所が町壊しのようにになっている。岡山県庁の前にある岡山県立図書館は、1階をオープンスペースにして誰でも入れるようにしている。

掛川市は1階で、よくピアノコンサートを行っている。

ただ市役所は9時から17時で閉まってしまう。共有財産を役人のものだけにしてはいけないという流れになってきている。

市役所や病院こそアート空間にしていくべきである。

委員：高校のクラブも地域移行という話はでているか。

委員：中学校は身体も心も成長する時なので生徒指導として部活動を行っている。これは生涯的な学習（文化）に結びつく。中学で部活がなくなってしまうと、子供達はどこで生涯的なスポーツや文化が出来るのか。これを地域に持っていったところ講師は誰がやるのか。ほとんど、高校の文化スポーツの指導者が定年後に名乗りを上げている。掛川市は吹奏楽だけで3団体くらいあるが、練習場所として文化施設を使いたい数が少ない。どこで練習したらいいかとなると会議室になってしまう。会館で練習するのと会議室で練習するのでは全然違う。音響空間が大事になっているので、そこはちゃんとしてあげなければいけない。現場の立場から言うと最悪である。貸

館にしても、外部から興行が入っても、設備が古すぎて対応することができない。電源だけはあるのですべて持ち込みになる。

お客さんの動線をもても、躓きそうなところがあったりする。

第2期(1970年から1980年)くらいに建てられた建物が今ちょうど建て替え時期に来ている。

部活動の地域移行について先生方は指導をする気になっているが、場所がない。

委員：今思うと文化施設を検討する時にすでに市民会館は壊れていてなかった。壊す前に考えていなかったのか。

委員：市民会館は昭和42年に建てられているので当時は中山間地の人も来ていた。補強して使った方がよかったという声がどこかでなかったのか。

委員：市としては耐震化の問題があったので壊さなければいけないというのが先だったのではないか。

委員：島田市は昔は静岡市に次ぐ大きい町であった。拠点の場所であった。補強して1,00席くらいにして使ってもよかったのではないか。

## (2) R5年度実績評価対象事業の抽出について

委員：この事業を選択した理由はあるか。

事務局：対象事業としては費用が多い、参加人数が多いといった基準がある。市が推し進めている事業を抽出した。ほか委員の皆様からご意見があればお聞きしたい。

委員：R5年度の評価をR6年度の2月に行うというのはどうなのか。年間を通したものであればわかるがマラソン大会などの単発事業はいかがなものか。評価するのはもう少し早い方がよいのではないか。

委員：現場を見る機会はないのか

委員：2月の協議会で現場を見ることを考えているか

事務局：今のところ考えていないが、現場を見たとしたら午前中に現場確認、午後協議会ということになる。今回の協議会で視察としておおりの改修箇所を見ていただくことはある。

事務局：おっしゃるとおり昨年度の評価を今年度の末に行うことは遅すぎると思う。6、7月に前年度の反省をして、その反省を踏まえ翌年度の予算等に反映させる。基本は6、7、8月に終わるのが通常である。

委員：項目を付け加えることは可能か。

事務局：お示しした項目はあくまでも案のため、協議会で付け加える項目

をお示しいただければ可能である。

委員：インバウンドに関する項目を付け加えたい。島田市は空港に近いが単なる通過点になっている。インバウンドをどういう風に受け入れてどういう風に市民との交流を図りながら島田へお金を落とすのか 総合的な島田の力 文化、観光、お祭りも含めた文化活動などはどうなのかというところをみたい。

委員：何か項目はないか。

事務局：基本的には、文化振興計画に記載されている項目から選択いただきたい。

委員：36 番人材派遣事業とか 観光ボランティアの育成とか

委員：これは、生涯学習についてか 観光も含めているか文化芸術基本法では、観光も文化に含まれている。

これは所管はどこになるのか。

事務局：社会教育課である。

委員：諏訪原城を小学生が見学に行ったことがある。3 クラスあり 1 クラスは非常に詳しい観光ボランティアがついた。他のクラスは詳しい方ではなかった。新潟県の津南町に行った時に観光ボランティアが2 名ついていたが詳しく説明してくれた。

それぐらいでないとインバウンドに対応できない。島田に滞留してもらうことができない。

委員：前から思っていたが、蓬莱橋もガイドが熱心に語ったら面白いと思う。すでに観光ボランティアがいて住み分けが難しいということだったが、昔の話だけではなく、タレントが映画撮影で訪れたとか視察に来たとかそういう話をしてくれる人が必要である。そういうボランティアを養成するべきだと思う。

委員：例えば金谷の石畳を観光客を連れて登っていくと上でチャンバラをしているとか。そういう発想が

委員：観光ボランティアさんはとても重要で、観光会社から求められた場合なかなか頼みづらい状況がある。話がなかなかスムーズにいかない。博物館の学芸員はとても面白く語る。わかりやすくおもしろい。ああいう人を要請しないといけない。

委員：武将隊などもそうである。新選組を大河ドラマで放送していた時に観光協会の職員が、京都駅で新選組の法被を着ていた。

掛川城は忍者の部隊がいて案内してくれる。島田も必要だ。

委員：「イケメンふんどし隊」はとても人気で、入りたいという問い合わせを受けた。

委員：そういったことをこの協議会で提案していきたい。

事務局：今回の計画では項目がないため次回の計画に入れて数字を把握したい。

委員：32番は違う内容か。

事務局：観光ボランティアとは違う内容と思う。

委員：インバウンドをどのように受け入れるか市民の受け入れ方を検討したい。

委員：48番観光課の戦略プラン作成事業は重要で、観光商品の活用ではインバウンド向けになっていて昨年度はこの商品を持って台湾など商談にいったということもあった。

委員：この項目を追加しましょうか。

事務局：承知しました。48番観光戦略プラン策定事業を追加します。

## **(5) その他**

- ・プラザおおるり視察

## **(6) 閉会**